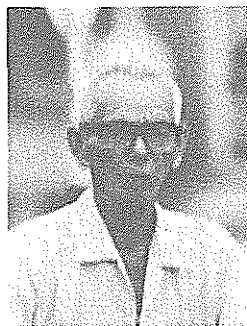


あなたと市政をむすぶ

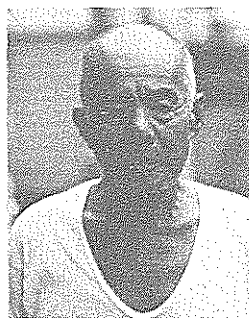
広報 なんこく



街で拾う



——とじておくと便利です——



9/15 1976 No.225
編集・発行／南国市広報委員会

みんなの川ですより大切に

舟入川を美しくして!と、小笠原市長は高知市民から越境陳情を受け、しかも『なんらかの取り組みのない限り、封鎖など実力行使も辞さない』という強い申し入れに対して、『なんらかの対策をたてる』と約束をしました
その約束に基づき、市民モラルの啓発運動の活発化、現況のゴミ掃討の二面作戦を計画し、8月26日、舟入川などのゴミ掃討作戦を展開、多大の戦果をあげました

職員200人出動

地元民の協力も

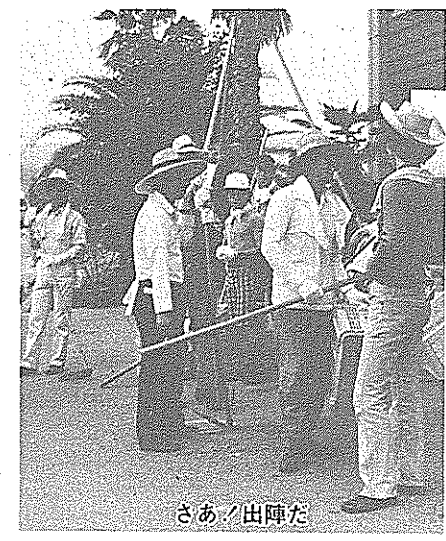


二面のゴミ

ちまたに拾う

▼ A子さんの場合、『私の住むアパートで、隣の奥さんゴミを捨てに行きませんから』と毎晩さそい合っていて、『二百リほどへだてた川へ捨てにいつてる方がいますよ』恐れ入りました。
▼ ある商店、市長との対話のなかから、B子さん『昼はよいのですが、夜間捨てる人がいます。飲料水を飲みからになったビンやカンを前の川へ捨てる人がいて困ります。なかにはキチント、ゴミはチリ箱へ、空ビンは空ビン入れに入れてゆ〜く子供もいますが、注意しないとすぐ外へ捨てますね。…ヤッパリ親のやっつてることを子供はしますよ』
▼ C子さんの場合、『町では夜炊事場から川へ捨てている人がいますよ、ゴミ袋へ入れて出すより手取り早いですからね』
▼ D男さん『きれいにしていたのは有難いですが、いつまでもちますかね、…きたなくなつたらまた市がやっでくれるだろう、という甘い考え方が生れては逆効果だしね』と不安顔。
▼ E男さん『これまでの川に対する考え方を改め、みんなの川をきれいにすべくです、とくに女の方のモラルを高める必要がありますね。おつこうがらずにゴミ袋へ入れ、指定の集積場所へ出すべきです。それが市民の義務ですよ』ときびしい。

きょうの話題 あすの話題



さあ、出陣だ

その日はドンヨリとしたあいにくの曇り空。小笠原市長のきょうのいきさつと『苦労だがしつかりやっつけてほしい』と激励の序内放送を皮切りに作戦の幕が切つて落され、午前八時四十分、市庁舎前に軍手と地下足袋、思い思いの作業服に身をかためた二百名近い勢子が又々、かまなどの作業道具をさげて勢ぞろい、それぞれ指示された担当河川に向つて出発、午前九時、一斉に作業を始めた。比較的きれいだとみられていた舟入川の上流も川の中にはいつてみると、ところどころにビニール類がかり、やぶに捨てられたゴミが川にずり落ちそう。川底に沈んだビン、カン類などもチラ、ホラ見え、地元上野田の人たちが、藻川と二班に分かれての協力は有難いこと。
一番ゴミの多いとみられていた藻川では、冷蔵庫やストープなどの粗大ゴミがでてくる一幕もありました。一方、横堀

川異聞記

▼ F子さん『舟入川だけでなく、新川やそのほかの川にもゴミはありますよ』と注文。
▼ はじめは職員の作業を見ていたが、みずから川にはいり協力してくる人もでてくるなど、盛りあがりを見せました。
▼ 自分たちの地区は自分たちで……七区の婦人たちは早朝より清掃にはげみ、みちがえるほどきれいになりました。
▼ 白く浮く発泡スチロールやビニール、空ビンなどのゴミもさることながら、草や木片など藻くすのたぐいが大半で、田のあり方に疑問ができました。
▼ 清掃にあつたO君は、『まるで田の代替えた、もう少し川の管理をしてほしい。改修も必要だ』と苦言がでました。

舟入川など・ゴミ掃討作戦

とゴミにまみれ



さくを設けて

川は子供の広場です!

川の辺路石付近では子供会や地元の人々が早朝より出て、作業をすすめてくられていました。

南野橋に

さくを設け

この作業は、川をさぶりながら流れるものは下へ流し、要所、要所へ揚げてゆく方法で上流から下流に向つてすすめられ、最終的にゴミを引き揚げる集じん所を藻川や横堀川の合流した舟入川にかかる小笠の「南野橋」に、前日、五寸角の角材を組んで設けられた「さく」によって、ゴミをせき止め、下流の高知市へ流さぬようにし、帯状に流れてくる大量のゴミを人海戦術とショベルカーの機動力によって引き揚げ、また、発泡スチロールや空ビン、ビニールなどは網ですくい揚げるなど胸までつかつての奮闘、すごいゴミというほかにはいいようがないほどです。

人海戦で奮闘

昼前から小雨交じりの天候となり、午後には一時ドシャ降りの中で、ズブ濡れとなりながらの掃討作戦も終りに近く、舟入川も篠原にはいると両岸に土砂がつもり、生い茂る草に水の流れ

が半分にはまらなくなって、その草にビニールや発泡スチロールなどがかり、よどみにはゴミがあつまり渦を巻いていきます。
『下がもたん、草は刈るな』からやがて、『流さずに揚げよ』と伝令が飛ぶ。ここでも冷蔵庫とテレビが引き揚げられ、上流とはうって変わった速いよう。

ゴミと水の圧力に、とうとう集じん所のさくの角材が折れ、一部が流される事故が発生、ゴミを下へ流してはならぬと手に手に網やくわを持ち、二重三重と列を連ねての人海戦術での防戦につとめるなど、いずれも腰や胸まで水につかつての奮闘に、流域の人々は、おかげさまできれいになって……と感謝していました。

戦果一〇〇トン

経費三十万円

この日の掃討作戦は午後四時に終了しましたが、集じん所や流域の所々に揚げられたゴミは、二トンダンブ六台で三十九回、四トンダンブ一台で四回、軽四トラック二台で八回、計五十三回、延百トン余り(推計)の戦果をあげ、千屋崎の不燃物の埋め立て場へ搬ばれ処理されました。
なお、これに要した経費は、三十万円ほどでした。

ゴミ入れ

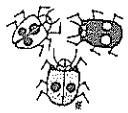
なできれいにすべくです、とくに女の方のモラルを高める必要がありますね。おつこうがらずにゴミ袋へ入れ、指定の集積場所へ出すべきです。それが市民の義務ですよ』ときびしい。
▼ F子さん『舟入川だけでなく、新川やそのほかの川にもゴミはありますよ』と注文。
▼ はじめは職員の作業を見ていたが、みずから川にはいり協力してくる人もでてくるなど、盛りあがりを見せました。
▼ 自分たちの地区は自分たちで……七区の婦人たちは早朝より清掃にはげみ、みちがえるほどきれいになりました。
▼ 白く浮く発泡スチロールやビニール、空ビンなどのゴミもさることながら、草や木片など藻くすのたぐいが大半で、田のあり方に疑問ができました。
▼ 清掃にあつたO君は、『まるで田の代替えた、もう少し川の管理をしてほしい。改修も必要だ』と苦言がでました。



流れもせはまり

老人の生きがいを語る

素晴らしい老人と 子供の集まりを



■ところでこんな問題はどうか
ようね。最近では保育のことがやか
ましくいわれるようになりまし
が、地区の老人クラブの人たちが
集まって交代で子供さんのめん
どをみるといったことは。

▼私も同感です。前々からそうい
うことをしたいと考えていました。
▼老人の生きがいに必要なし、何
かの手伝いをしたいですね。

▼私たちは一日にだいたい七千
から八千歩くらい歩くんですが、あ
の小さい子供は一日に二万歩歩
くんです。もし子供が逃げ出すと、
お年寄りがかまえるのになかなか
大変だろうという心配もありま
す。いろいろの問題をまよほど慎重
に考えなくてはなりませんね。

▼大変いいことですが、今のお母
さんやおばあちゃんにまかせてく
ださるかということ——普通の託
児所のような所へあずけてくださ
るかということが問題ですね。

▼それは確かにありますね。

▼あずかる人も衛生面とかも考え
なくてはならないし、ほんの二、

ありがたい年金 暖かい親子の関係



三人をあずかるのもむりですね。
▼お互いが話し合って、できる道
が開けたら素晴らしい老人と子供と
いう集まりができ面白いと思うん
ですが——老人ホームの所には
必ず保育所を作つたらと思います。
今後、子供たちとも楽しいお付き
合いができるだろうし、楽しい毎
日を送れるんじゃないでしょうか。
みなさんも帰えられて、こんな話
があったと、若い人も話し合わ
れたらいいんじゃないかと思いま
す。

■老人クラブに参加されている方
のなかには、特に農家などでは家
の手伝いなどで十分活動できない
お年寄りもいるんじゃないですか。
▼農業地帯ですし、老人とはいえ
遊んでいる人はいません。現在あ
る調査を行なっていますが、この
調査によると二十人の老人がいた
ら十九人まではそれぞれ家の仕事
なんかをしています。そのうえで
老人クラブの活動をしているとい
うことです。

■家の「きんちゃく」を握ってい
るの、お年寄りや若い人、どち
らが多いでしょうか。
▼だいたいは若い人じゃないです
か。

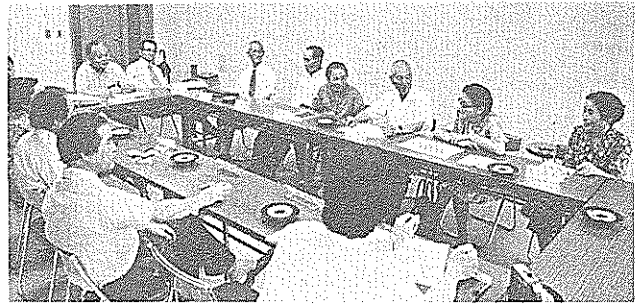
▼もう老人が家の実権を握ってい
る家はほとんどないと思ってい
ます。

▼そうすると小遣いは月給のよう
にもらっているということですか。
▼まだそこまでは進んでいません。
みんな、持っているお金をぼつぼ
つ使って——それに年金をいた
だいているのでみんな非常にあり
がたがっています。若い人にもら
わずに遠慮がいらぬので——。

▼私の親せきのおばあさんも「あ
ちゃあ、何ちゃあ買うものはない
し、年に十五万円のお金をもらう
たらお金が残って困る」と言っ
ています。

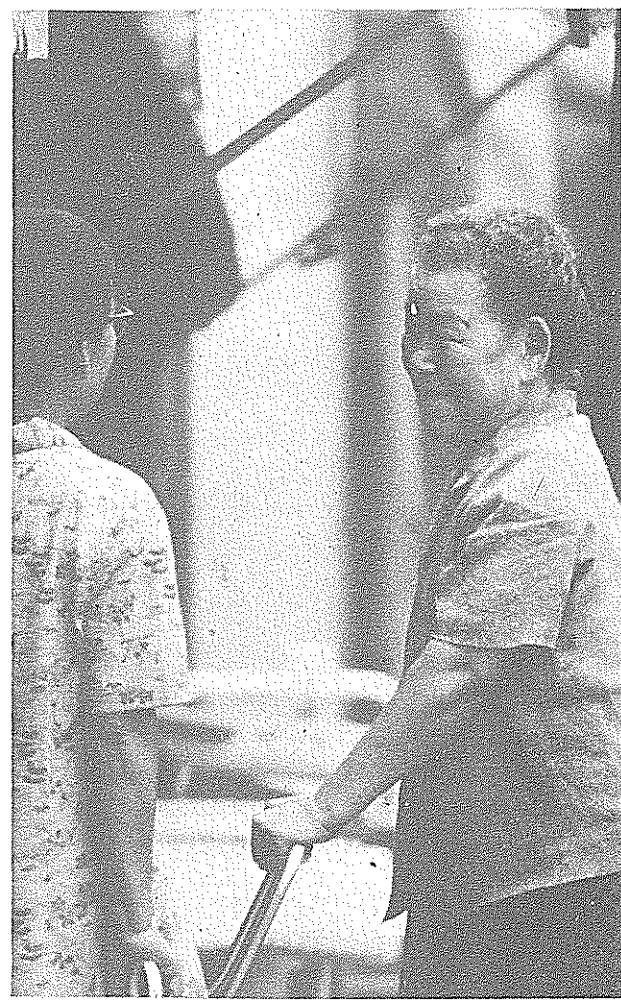
▼田舎は年金で足りるのう。
▼それは今のご老人は経済的に
ご苦労なさっていないことになり
ますね。

▼ありがたいことですね。
▼年金などを本人に持たせてやる
ことが生きがいですね。あるお
年寄りが、入院していても勤け
んの目を盗んで、よちよち歩い
て自分で来たら来たことがあり
ました。せつかく近くまで来て、
ぱったり倒れて病院から車が迎え
に来たことでしたが、やっぱり自
分で手にしたいんですね。



「私は現在十一歳。これか
ら娘さかりでますます頑張っ
ていこうと考えています。」と
いう若々しい言葉には、会場
いっぱい笑いが出た。
楽しい座談会となりました。

九月十五日は敬老の日——最近、福祉、福祉とよ くいわれるようになりましたが、まだまだ満足なもの はいえないのではないだろうか。いつも老人を取りまく 三つの問題。経済・健康・孤独。これらのなかで老人は 何を生きがいにしているのだろうか。



集団での生活が大切



今日は、「老人の生きがい」についてお年寄りのみな
さん方に話し合っていました。

■今日はお忙しいところありがと
うございます。「健康で楽しい毎
日」——これはお年寄りみんな
の願いです。そこで老人の生きが
いについていろいろお話をうかが
いたいと思います。みなさん、老
人クラブではどんな活動をされて

いますか。

▼私のクラブは山間で活動もなか
なと思うようにできませんが、年
に二回の会合をみんながとも喜
んでくれます。旅行に行ったり、
宴会をしたり。会員も年々増えて
います。

▼毎月老人大学をやっています。
講師をお迎えして、会員みんなで
意見発表や演芸なんかをやってい
ます。なんと言っても年寄りは健
康が第一です。肉体の健康と精神
の健康を目的にしています。

▼あれもこれもしたいと考えてお
りますがなかなか実行がともなわ
なくて——。現在は道路の清掃、
高齢者教室のまねをして毎月一回
の会を頑張っています。

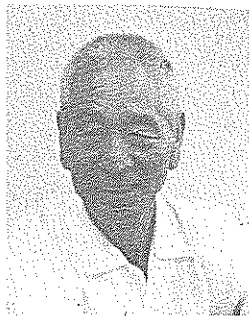
▼お年寄りになるとどうしても孤
独になります。そのためには集団
で生活をするということが大切に
なります。みんなで力を合わせて
社会奉仕をしよう、世の中をまし
く明るくすこしていこう、こうし
たことから老人クラブができたん
じゃないかと思えます。

▼老人クラブの運営はなかなかむ
づかしくて——何か会則のような
ものがあればやりやすいのですが。
自由で、対象が老人ということ
あまりきつくなってもいいけな
い、そうかといつてもあまりだら
なくともいいけないし、非常にむづ
かしいところです。それから老人

▼ぼつぼつあるようです。例えば
浜改田クラブでは海岸へ「浜ゆう
」を、三島クラブでは「玉龍」を植
えて商売をして、その収益をクラ
ブの運営に役立てていますね。
(玉龍はリュウノヒゲの一種でユ
リ科の多年生草本。庭園用にも使
われる。)

▼家庭にあるかくれた品物、瀬戸
物なんかを出し合って、売り上げ
の一部をクラブの運営に役立てる
といったこともいいんじゃないで
しょうか。

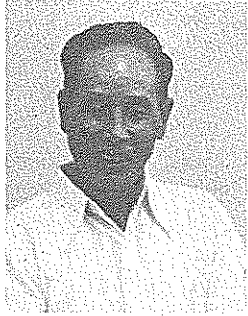
▼今度やってみようということに
なっています。



松本伝三さん (大 埔)



西原初子さん (岡田町八幡)



岩原成基さん (白木谷)

▼やっぱり今後のクラブの活動にもお金があつたらいいし、給料制度のようになれば理想的ですね。(笑)

▼でも親子の関係というのは案外暖かいものです。必要に応じてきちんととれます。

▼私は子供にもらわんでも自分で十分やっていきます。「こつちからやるばあです」。(笑)



高齢者教室は 老人の天国

▼現在、南園市には中央高齢者教室、前浜高齢者教室、三和高齢者教室の三つの教室があります。南園市から、北は白木谷からも年寄りが来ています。運営費は年間約二十万円、個人負担はほとんどありません。ただ遠くに行くときなんかのバス代などは負担してもらっています。学級生は三百八十人くらい、出席率も八〇〇をこえていると思います。

▼高齢者教室は実に楽しい。老人のただ一つの天下です。孤独もない老化もない、楽しいことばかりです。もう年寄って高齢者教室に出席するのが何よりの楽しみで

す。毎月毎月、りっぱな講師の先生をよんでいただいて立派な話を聞かせていただいたり、歌ったり踊ったり、研修旅行もあり、高齢者教室ができたという事は無上の幸福だと思います。

▼げによごいますねえ。老人クラブの目的はほとんどこれでできてきます。ただ地域との交流ができませんというだけで……。

▼肉体的にも精神的にもうんと元気になってほんとうにいい教室です。

▼月一回では少ないと思います。週一回ぐらい聞いてほしいですね。経費や講師の問題なんかがあるとと思うんですが、講師の方も市内にたくさんいるんじゃないでしょうか。

▼そうですね。何かよそから来た講師でないと思つていたら大間違いです。(笑)

▼教室には男性が少なく女性の参加が多いということは残念ですね。男性には他にいろいろと生きがいがあるということです。魚釣、パチンコ、競輪、競馬、お酒、囲碁、将棋といろいろありますが、(笑)女性は昔から除の力で恵まれてないので、教室に出はじめると目がいつべんにきらきらと輝いていく。一度出席すると健康の許さざり休むことは絶対ありません。

▼最初の年は百二十人、次の年は



趣味を持ち 楽しい毎日を

▼みなさん長生きをされていますが、こんな健康法をやっているということがありましたらお聞かせください。

■「趣味を持ち、楽しい毎日を」

▼「なんと言つても健康が第一です。どうかみなさまがたも、おれについていこう」と言わんばかりの元気を持って、今後とも活躍していただきたいと思つています。広報紙もみなさま方の励ましを、紙上のクラブとしてご利用ください。今日はどうもありがとうございます。

▼年がいったら歩くことが少なくなり、歩かないことを考えています。一人で歩くのもおかしいので犬を飼つて、犬に連れて行ってもらつています。一日に一時間ぐらい歩きます。

▼歩くことは大切ですね。私のほうは山ですから歩かんとどうにもなりません。ですからわりかし健康です。田舎ですので野菜を食べるのがいいんじゃないかと思つています。

▼みなさん、お酒はどうですか。

▼好きです。晩酌もちよつとやります。

▼飲みましたら飲みますよ。(笑)

▼私は現代医学をやめて、「おきゅう」をしています。これは医師から死刑の判決を受けている人でも助けることができます。もちろん健康法です。二十四年前からやっています。それと磁石の腹巻を十三年前から。医師から歩行を禁止されていますがこれのおかげで毎日頑張つています。

▼楽しく日々を送ることが理想ですね。好きなことをするのがいいと思つています。植木は年中友達になります。それに競馬も、今度こそ、今度こそと楽しんでます。

▼それが希望となります。

▼趣味は大正琴、読書、それにささやかなおしゃべり。寝るのも惜しみ熱中して、夜がふけるの

も忘れることがあります。

▼あまり高い山へは登れませんが山登りを。

▼敬老会は一般にやつてあげるといふ傾向がありますが、前浜の老人クラブは自分たちでやるのが楽しみで何んでも自分たちでやります。私たちが何も手伝いすることなく。

▼よその敬老会から招かれて踊りにも行つていそうです。

▼レコードを買つてきてみんなで盛んに練習しています。一番の楽しみです。

▼いい趣味ですね。

▼年寄りは何が趣味をもつておらんといけませんので盛んにやっています。老人大学のときなんかみんなで演芸をやりますよ。

▼多くの人が、年が寄つたら腰が曲がる、しわが寄る、目が見えなくなると思つていようですが、決してそんなことはありません。百歳ぐらいでそんなことになることはないですよ。訓練と気の持ちようで長生きできます。ある人が白くなつた頭を信じて黒くしたそうです。また、ある人は苦勞のた

め一晩で頭が白くなったということもあるんです。長生きしてもある程度意識もはっきりして体も丈夫でいたいですからねえ。そのため、本を読むなり、歩くなり、体をよく使うことです。気持ちをしっかり持つことです。

それから、「年がいつたら老人ホームへ行く」こんな言葉はお年寄りに絶対言つてほしくないですね。年がいつても子供に世話してもらつて、そんな家は栄えますねえ。そんなことを言うのは悲劇です。孫のめんどうをみて、共に心配す

るのである。

人間、いくら年を取つても欲望は捨てるものではなく、それは良きにつけ悪きにつけそうである。雀百までの誇り、知識欲も死ぬまで持ちつづけたものだ。知識欲、すなわち頭を働かすことは、

で人生の終着駅にばく進するからほんとに怖い。高齢者教室はこの歯止めである。

幸にも、教室に毎月集る百五六十人余りの人達のなんと知識欲の旺盛なこと、まことにたのしい限りである。老人クラブ員全体から見れば、わずかに十割たらずの数だと思つたがこの人達には仲々老化が来ない、長生き競走の選手だと私は思つた。

老人クラブ活動の中でも、高齢者教室ほど効率的で、クラブ活動の目的、真隨にガツチリと触れている集いはないと思つた。

この教室を通して老人会組織の大半は達せられているのではなからうか。県下各地でも、また全国的にも、今や老人大学花盛りである。ところが世間ではこの種の老人大学や、老人会の会合を敬遠しているむきもあり、老人自身にもかなりあるようだ。

ある時、高瀬柳壇に、「緻持てるかぎり老人会に出す」なる句があつた。この句から受ける感じは、緻を握ればまだく百姓仕事は出る、老人扱いをしてくれるな、老人会なんかに行

くものか……という元気が、あるいは老人会に対する一種のツムジ曲りかの抵抗かであるうが、いずれにしても私は頂かぬ。

さて、作者のこの盛んな元気は一応は諷刺するけれども、間違つてはいけないと思つたことは、この

教室随想

中央高齢者教室 松本 伝三

の川柳子のような年を取つても、なお元氣な人達を組織員として活動し、いろいろと老人福祉を高めてゆこうとする現代の老人会組織を、何か雑踏山行きの待合室みたいに勘違いしてもらつては困る、と私はその時つくづく思つたこと

健康長寿と決して無縁でないことは我々いつも聞かされている。体の全部を働かすことはもちろん必要に違いないが、何と云つても脳ずいを眠らせないよう刺激を与えることが一番大切であらう。刺激なき老後は、車が急坂を下る早さ

第二回南園高齢者教室生文集「冬虫夏草」より抜粋ししました。



堀尾寿龜さん (後免町)



利岡富次さん (片山)



竹島春江さん (前浜)

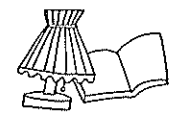
市政モニター決る

広報なんごく六月十五日号で、市政モニターを募集していました。このたび次の十七名の方々にお願いすることになりました。

これは、全国的に地方自治体をゆるがしている地方財政危機のなかで、地方自治本来の姿を見直すとともに、そうした苦悩の時に、「限りなき市民要求の声や意見提言など」をいかに市政へ反映していくかという目的として行うものです。

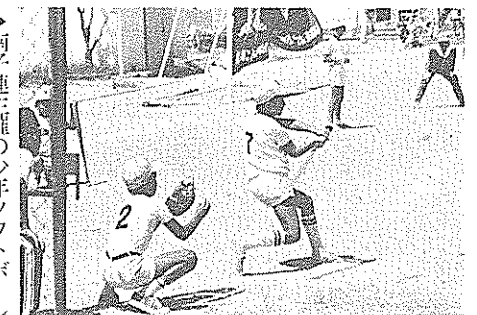
モニターの方々には、任期中に、研修会、座談会などを各々一回程度と、アンケートに対する回答を三回予定しています。また、これらは集計して広報紙で発表します。モニターの方々には次のとおりです。

- 上倉・垣内盛枝(48) 農業
- 三和・中田政春(71) 農業
- 日章・中沢一男(51) 農業
- 〃 泰泉寺敏弘(48) 農業
- 長岡・山崎英子(70) 主婦
- 園分・高村富枝(62) 無職
- 岩村・石丸益穂(42) 農業
- 岡田・竹村信子(42) 主婦
- 〃 橋田清幸(32) 農業



- また、十七人のうち分けは、男性十一人、女性六人。農業八人、主婦五人、無職三人、税理士一人。年令別では、二十代一人、三十代一人、四十代一人、五十代一人、六十代二人、七十代三人、となっています。

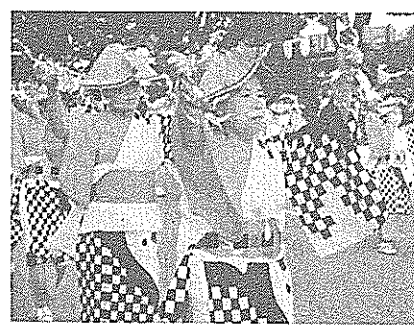
南子連主催の少年ソフトボール大会が、八月二十一日、炎天下の香長中学校グラウンドで行われた。早朝七時に集合、八時にプレイグームをして、延々七時間の熱戦で特に少年ソフトボールは、二十三チームが参加、一点差を争うゲーム展開が見られました。



▼毎年旧暦の7月17日行われる十七夜祭が今年も国分寺で行われた。新盆を迎える壇家の人々が集り仏さんの供養をするもので、地味ながらも歴史ある宗教行事となっている。また盆踊りもするなど楽しい一夜だった。

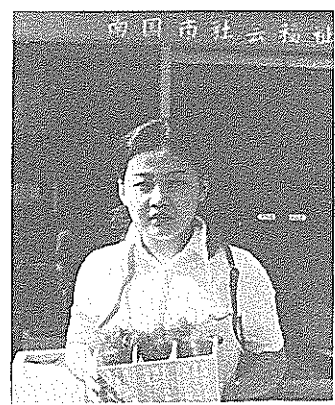


◀「おどり百まで」。幼児から七十歳のお年寄りまでの、おどりの好きな人たちで集ってつくっている「ほまれ会」は、今年はじめてよさこい祭りに参加し、主催者から優秀賞をいただきました。



▲「今日のこの日を第2の人生のスタートの日として——」嵐のような50年を、手をたずさえてこられた金婚夫婦を祝福する式典が行われた。市から47組、県下で709組が参加した。(9/1体育館で)

今年も勇気のシンボル赤い羽根を



今年も十月一日から共同募金が全国的に行われます。これはコミユニティ・チェストの訳語で、スイスの一牧師が「与えよ取れよ」と書いた箱を路上に置き、通行人が自発的に金を入れたり、また引き出したりしたことが始まりといわれております。日本でも大正十年に長崎で行われましたが、社会的意識も低いころだったのが自然と消滅してしまいました。

戦後アメリカのまねで赤い羽根を応募者に渡すようになりましたが、赤い羽根にしたそもその理由は、ヨーロッパやアメリカで昔から正義や勇気の象徴として赤い羽根を頭につけるのを名譽にしておりましたし、特にアメリカ・インディアンは生きているワシから羽根を抜いて、赤く染めて頭部にさして誇りを現わしたということです。ロビンフットや三銃士が帽子に赤い羽根をつけ、正義のシン

50年度分善意表(単位円)

種別	実績額	配分額	配分先
一般募金	2,483,235	2,110,387	南州市社協事業費、交通遺児、在宅老人援護、社会福祉センター等へ 739,890
			17地区社教活動費へ 1,062,497
			老人ホーム土佐清風園へ 88,000
			私立浜改田保育園へ 220,000
指定募金	4,282,650	4,282,650	重症心身児土佐希望の家へ 760,000
			土佐清風会へ 1,012,650
			社会福祉センターへ 2,510,000
歳末たすけあい	199,000	1,254,300	生活困窮、母子、身障、長期入院患者、施設入所者、災害見舞等 1,254,300
計	6,964,885	7,647,337	

ボルにしたことは知られておりましょう。赤い羽根は単に募金をした「印」ではなく、勇気ある正義の士に与えられる「草」でもあるのです。

ところで、昭和五十一年度目標額(一般募金)は、四百五十九万五千円です。民間の福祉施設や地域のお気の毒な人々は、皆様の善意を心から待っております。たった一つの助け合い運動です。皆

様の善意をお寄せ下さい。また、昭和五十年度の皆様から寄せられた善意は下記のように集り、配られ、使われました。ありがとうございました。

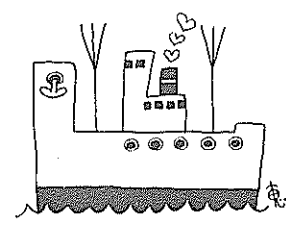
社会福祉協議会

中央児童相談所の巡回相談

お子様の問題でお困りの方は、ぜひご利用下さい。性格、知能言語、学校生活、非行、家族関係、心身障害、その他です。

日時・十月四日(月)九時から五時まで
場所・社会福祉センター
電③4444

福祉事務所家庭児童相談室



お年寄りに

税金の優遇措置

九月十五日は敬老の日です。ところで、高齢人口の増加や核家族化などによる老人問題は、国民の重要な関心事の一つとなっていますが、国では高齢年金の引上げや、寝たきり老人に対する扶助老人ホームの拡充など、いろいろの施策を行っています。

そして、税金の面においても、お年寄りは社会的、経済的に弱い立場にある場合が多いことを配慮して、お年寄りに対していくつもの優遇措置がとられています。

そこで、お年寄りに有利な所得税の特典について説明してみます。

お年寄りが受けられる特典

年齢が六十五歳以上で、所得金額が二十万円以下のお年寄り本人には、次の二つの特典があります。

【**老年者控除**】
 所得税の計算は、各種の所得金額の合計額から、社会保険料控除、扶養控除、基礎控除などの所得控除を差し引き、その残りの額に税率

をかけて行いますが、お年寄りの場合には、その所得控除の一つとして老年者控除があり、二十万円を所得金額から控除することができます。

【**老年者年金特別控除**】
 国民年金や厚生年金などの公的年金や恩給は、給与所得として課税の対象となります。しかし、お年寄りが受ける公的年金や恩給は長年の勤労の対価、老後の生活の保障という点で、一般の人が受ける給料などと性質が異なります。このような点を考慮して、お年寄りが受ける公的年金や恩給については、その年中の収入金額から、給与所得控除を差し引く前に、七十八万円を控除することができます。従って、お年寄りが受けるその年の収入が公的年金だけであれば、先に述べた老年者年金特別控除七十八万円のほか、給与所得控除として五十万円、老年者控除として二十万円、基礎控除として二十六万円の控除が受けられますので、最低百七十四万円までは所得税が

かからないということになります。

お年寄りを扶養している人が受けられる特典

親族を扶養している人は、その親族が通常の扶養親族である場合は扶養控除として一人当り二十六万円を所得金額から控除することができますが、その親族が老人扶養親族である場合には、お年寄りを扶養しているという点を考慮して、二十六万円の控除に代え、老人扶養親族一人当り三十二万円を所得金額から控除することができます。

老人扶養親族とは、(一)生計を同じくする親族や都道府県知事から養護の委託を受けた老人であり、(二)年齢が七十歳以上で、しかも障害者でないこと、(三)所得が全くない人が、あつても(四)自分の勤労による所得である給与所得等であるときは二十万円以下、(五)その他の所得である時は十万円以下、(六)給与所得等とその他の所得の両方である時は、給与所得の金額の二分の一とその他の所得の金額が十万円以下の人であること、となっています。

なお、詳しいことを知りになりたい場合は、電③3215までお尋ね下さい。

南国税務署

郵便

お年寄りに便りを

九月十五日は「敬老の日」です。今年もお年寄りに、敬老の便りを出しましょう。

年おいたご両親へ、あるいはお孫さんからおじいさん、おばあさんへの心のこもった便りは敬老の日の何よりの贈り物です。

また、話し相手の少ない一人暮らしのお年寄りなどには、一通の便りが大変喜ばれます。お知り合いの一人暮らしのお年寄りなどにも便りを出しましょう。

南国郵便局

募集

〈テーマ〉くらしを見直す

国民生活センターでは、「くらしを見直す」と題した懸賞文を募集しています。

わが国の国民生活は経済規模の急速な拡大を背景に、物質的豊かさを築いてきました。しかしながら反面、大量生産・大量消費の下に、限りある資源を多く消費し、環境の悪化をまねきました。

資源・環境の制約下において、物質的繁栄のみでなく真に豊かな生活をとりもどすため、あなた自身の生活を見直し、自ら考え、自主的努力で、人間的生活をどう営むか、またどのような実践されてきたかを具体的に書き下して下さい。

- ▼原稿 ①四百字詰原稿用紙十枚程度②原稿は必ずとじ末尾に氏名、住所、職業、年齢
- ▼締切 昭和五十一年十月十五日(当日消印有効)
- ▼あて先 ① 東京都港区高輪三十三三十二 国民生活センター 懸賞文募集係
- ▼入選 特選 一編五万円 入選 三編三万円
- ▼佳作 若干編記念品
- ▼発表 昭和五十二年二月上旬頃(応募者全員に通知)

注意 台風シーズンをむかえての稲わらの処理について

10月17日から

行政相談週間

社会福祉センター

本年度の行政相談週間は、十月十七日から二十三日までの一週間と決まりました。

これは、高知行政監察局と行政相談委員連絡協議会が、国の行なっている仕事や、県市の仕事で、苦情や相談、意見、疑問を持つている人のために、この行政相談を行なっているものです。

行政に対する不平不満や意見、要望を聞くため下記により行政相談週間を実施いたしますので、お気軽にご利用下さい。

相談週間・十月十七日(日)より二十三日(土)まで

場所・社会福祉センター
 行政相談委員・山崎喜一(下末松) 山崎慧慈(東崎)



なお、毎月二十日(午前十時から午後三時まで)は、定例相談日となっております。

秋の狂犬病の予防注射と登録を

狂犬病予防法により狂犬病の予防注射を年2回(4月・10月)と登録を毎年1回しなければなりません。もしも狂犬病の予防注射または登録をしなかったものは、3万円以下の罰金に処せられることがあります。

下記日程により、秋の予防注射と昭和51年度の犬の登録受付を行ないますので、必ずもよりの場所に犬をつれて時間内においでください。また、前回の狂犬病予防注射済証を必ず持参してください。

料金は、定期登録料 300円、予防注射料 590円、獣医の巡回による予防注射(注射のみ) 1390円、獣医宅で予防注射を受けた場合(注射のみ) 1090円。

月日	実施ケ所	時 間
10月1日(金)	西山公民館	午前 9.00~10.00
	長岡東部	〃 10.20~11.20
	栄町	午後 1.30~2.00
10月4日(月)	中央福祉館	〃 2.10~2.30
	明見保育所	午前 9.30~10.00
10月5日(火)	竹中公民館	〃 10.30~11.30
	南国市立体育館	午後 1.30~2.30
10月6日(水)	物部農協支所	午前 9.30~10.00
	日章公民館	〃 10.30~11.30
10月7日(木)	岩村	午後 1.30~2.30
	久枝公民館	午前 9.50~10.10
10月8日(金)	前浜農協前	〃 10.30~11.30
	野田小学校	午後 1.30~2.30
10月12日(火)	三和地区公民館	午前 9.30~10.00
	浜改中田公民館	〃 10.20~11.20
10月13日(水)	十市支所	午後 1.30~2.30
	岡豊定林寺公民館	午前 9.30~10.00
10月14日(木)	岡豊支所	〃 10.20~11.20
	稲生地区公民館	午後 1.30~2.30
10月15日(金)	奈路公民館	午前 9.30~9.50
	瓶岩農協前	〃 10.00~10.20
10月16日(土)	領石支所	〃 10.50~11.20
	黒滝公民館	午後 2.00~2.20
10月17日(日)	白木谷農協前	午前 9.00~9.20
	上八京窪田宅前	〃 9.30~9.40
10月18日(月)	国府農協前	〃 10.00~10.50
	久礼田地区公民館	〃 11.00~11.50
10月19日(火)	南国中央青果市場(ショッピングセンター南側)	午後 1.30~2.00

10月の不要犬の買上げは、13日の水曜日です。



早稲の収穫も終り、中稲の収穫の時期となりましたが、すでに収穫をすませた早稲跡には、コンバイン等で処理された稲わらがバラまき状態になっています。

昨年の台風時には、県西部でこのような稲わらが浮遊移動し、排水路をせき止め、大きな災害を招いた前例もあります。水田面積の多い本市においては、当然この問題に早急に対処する必要がありますが、とりあえず次の事項について農家のご協力を得て、改善措置を進めて行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

- ①稲収穫後、稲わらがバラまき状態になっている水田は、なるべく早くすきこむこと。
 - ②稲わらをそのまま田に置いておける場合は、台風時に水路などに流れこまないよう処理して下さい。
- 南国市営農業改善会

日	一般・衛生行事	日	一般・衛生行事
21(火)	岡豊結核・老成人検診・9:30~11:30、1:00~2:00 定林寺公民館 不燃物の収集・後免(東町、横町、中町、中ノ丁)	29(木)	
		30(金)	
22(水)	岡豊結核・老成人検診・9:30~11:30、1:00~2:00 岡豊地区公民館 愛の献血・9:30~11:30、1:00~2:00岡豊地区公民館 不燃物の収集(中島町、沖、山崎、吉田、常通寺島、江村、小籠)	1(金)	稲生乳児相談・10:00~3:00 稲生地区公民館 不燃物の収集(立田) 法の日・赤い羽根の共同募金
		2(土)	不燃物の収集(田村)
23(木)	不燃物の収集(植田、久礼田) 休日在宅医・鍋島医院(国分) 2-0030 (傳) 5353 秋分の日	3(日)	休日在宅医・南国産婦人科(後免) 4-2910
24(金)	上倉・岡豊乳児検診(生後9ヵ月~1年6ヵ月)1:30~2:00 岡豊地区公民館 不燃物の収集(植野、領石)	4(月)	十市乳児相談・10:00~3:00 十市支所 不燃物の収集(十市)
		5(火)	不燃物の収集(里改田、片山)
25(土)	法律相談・10:00~12:00社会福祉センター(東崎) 3-4444 不燃物の収集(瓶岩、上倉)	6(水)	前浜乳児相談・9:00~3:00 南部福祉館 不燃物の収集(浜改田)
		7(木)	不燃物の収集(前浜、下島、久枝)
26(日)	休日在宅医・小栗医院(十市) 5-8405	8(金)	不燃物の収集(山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野、伊達野、南海学園)
27(月)	岩・日章乳児相談・9:00~12:00日章保健婦室 不燃物の収集(国府、岩村)	9(土)	不燃物の収集(篠原、明見)
		10(日)	体育の日 目の愛護デー 休日在宅医・東川整形外科(大垣) 3-3261
28(火)	不燃物の収集(笠ノ川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原)		

8月の交通事故

	件数	死者	傷者
8月の事故	20件	2人	30人
昨年の8月	22件	0人	27人
ことしの累計	166件	8人	269人

交通事故は 110番へ

火災と救急

	火災件数	被害額	救急件数
8月の件数	3件	100万円	88件
昨年の8月	1件	150万円	83件
ことしの累計	23件	3,545万円	570件

火災と救急は 119番へ